

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・調理実習や裁縫学習など実践的な活動後に、ペアやグループで活動を振り返る時間を設けたことで、自分の考えや行動を見つめ直すきっかけになり、協働的な学びにつなげることができた。
- ・今まで明確に自覚していなかった自身の家庭での役割を知り、実践的・自覚的に取り組んでいこうとする意欲的な姿が見られた。
- ・ミシン実習では、家庭との連携を図ったことで、技術面に難しさを感じていた児童もミシンの扱い方や縫い方を理解することができ、主体的に活動する児童が増えた。

(2) 課題

- ・SDGSに関わる事柄に関して、理論的な根拠への理解が不十分である。
- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定したり、課題解決のために見通しをもって様々な解決方法を考えたりすることに課題が見られる。
- ・学んだ知識や身に付けた技能を各家庭で実践する機会が不十分であったことで、知識や技能の定着に課題を残した。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○学んだ知識や身に付けた技能を各家庭や他教科の学習の中で実践できるような課題設定をすることで、知識や技能の定着を図る。	○身近な家庭生活や学校生活を振り返る機会を題材の導入時に設定することで、改善すべき点や課題を見いだすことができるようにする。	○生活をよりよくしようと、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようする意欲をもたせる。
○既習事項を児童が繰り返し確認できるように掲示物を工夫したり、タブレットによる動画や資料を用意したりするなど、ICT機器を活用する。	○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践したり、結果を評価・改善したりするなどして課題を解決する力を身に付けられるようにする。	○学習の振り返りから次時の実践方法を考えたり、方法や手順を見直したりすることで、PDCAサイクルを意識した生活の改善が有効であることを実感できるようにする。